

改訂版

地震の揺れを感知し、ブレーカを自動でOFF!

# KANSHIN BREAKER

感震ブレーカーパンフレット



# もしもの時のために、 今、できること。

今後、30年以内に70%の確率で起きるとされるマグニチュード7クラスの首都直下地震。被害想定では、およそ半数の世帯で停電が発生するとされています。停電から電気が復旧すると、スイッチがONになったままの電気器具や損傷した電気コードに通電し、火災が発生し、甚大な被害をもたらすことが予想されます。阪神淡路大震災や東日本大震災においても発生した火災の過半数は、電気が原因でした。

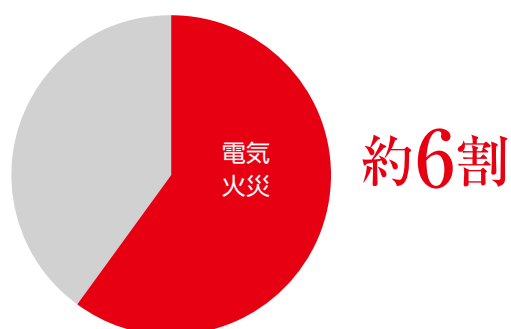
近年、国をあげての取り組みが始まり、住宅密集地域では、政府が地域ぐるみで感震ブレーカーを取付けることを推奨しています。

日東工業は、ご家庭から商業施設、工場など、あらゆる場所での感震ブレーカーの普及を目指し、安全な暮らしと街を未来へ繋ぐ製品開発に取り組んでいます。

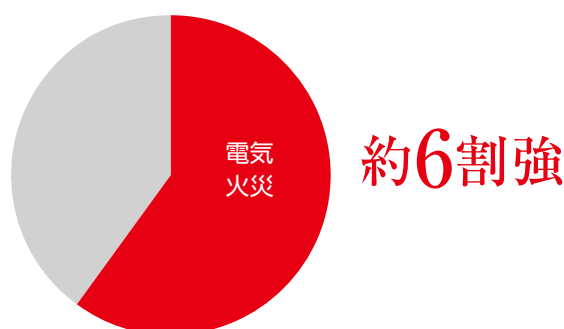
# ご存知ですか？ 地震時の火災の危険性。

過去の地震火災の原因（出火原因が確認されたもの）

〈 阪神・淡路大震災 〉



〈 東日本大震災 〉

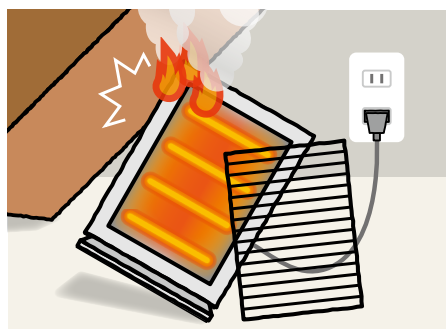


※「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会報告書について「1.大規模地震時における火災の発生状況」（内閣府）  
（[https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/pdf/gaiyou\\_houkoku.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/pdf/gaiyou_houkoku.pdf)）を基に作成

## 【電気火災発生例】 居住者の避難後などに起こる復電火災も多い

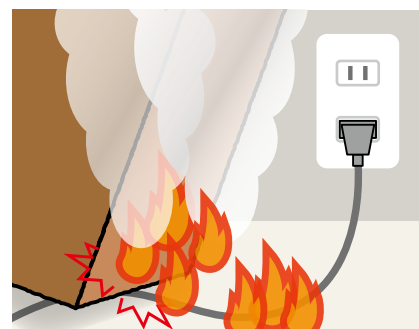
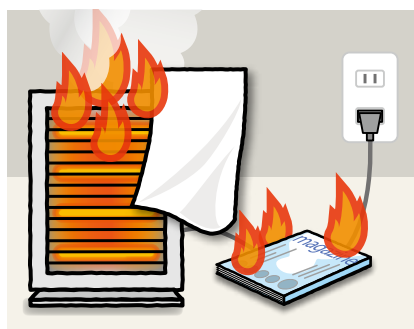
### 地震発生直後の火災

電気器具が転倒し、可燃物と接触するなどして起こる。



### 復電火災

停電が発生し、その後電気が復旧した際、可燃物が落下した電気ストーブや破損した電源コードなどに再び電気が通ることが原因で火災が起きる現象。



地震時はブレーカをOFFにし、電気火災を防ぐことが大切です。

しかし、大規模地震が発生した場合、「避難が優先のためブレーカをOFFにする余裕がない。」「地震による家具などの転倒物の散乱などにより、ブレーカに近づけない。」など、さまざまな問題があります。

# 大地震による電気火災防止対策として、 『感震ブレーカー』の設置が有効です。



『感震ブレーカー』は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

「感震ブレーカー普及啓発チラシ(2019年4月更新)」(経済産業省)  
([https://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/oshirase/2015/10/20190408-1.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/20190408-1.pdf))  
1頁より引用

- 内閣府の首都直下地震対策検討ワーキンググループでは電気関係の出火防止対策として、感震ブレーカーなどの設置を進めることにより、火災による建物焼失などが**約5割**減少すると予測しています。  
また、木造住宅密集市街地で感震ブレーカーの普及率を10年間で**25%以上**にする目標を提言しています。

## 感震ブレーカーとは

「感震ブレーカー」は感震機能付きの分電盤を表し、「感震ブレーカー等」は上記のほか、コンセントタイプや簡易タイプを含め、地震の揺れを感知し電力供給を遮断する機器全般を示す。

「感震ブレーカー等の性能評価 ガイドライン」(経済産業省)  
([https://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/oshirase/2015/10/270105-3.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-3.pdf))より抜粋

## 認定マークの取得

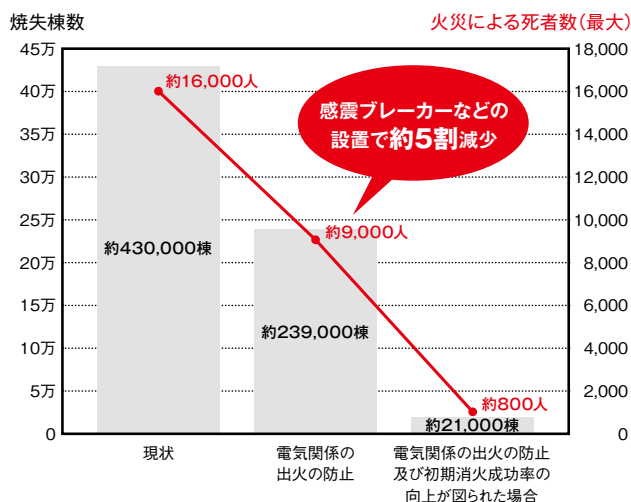
感震機能付ホーム分電盤は『高機能規格適合品』です。



〔認定マーク〕

「一般社団法人 日本配線システム工業会規格  
「感震機能付住宅用分電盤規格JWDS0007-付2」

## 都心南部直下地震





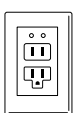
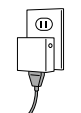
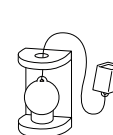
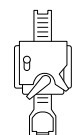



「首都直下地震の被害想定と対策について(最終報告)【別添資料1】  
～ 人的・物的被害(定量的な被害)～」  
平成25年12月 内閣府 中央防災会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループより  
(内閣府)  
([https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/taisaku\\_wg/pdf/syuto\\_wg\\_siryo01.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/taisaku_wg/pdf/syuto_wg_siryo01.pdf))  
9頁より加工して作成

## 感震ブレーカーは内線規程の「勧告」「推奨」対象です。

- 「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき」▶【勧告】●上記以外の全国の住宅▶【推奨】  
地域」及び都市計画に基づく「防火地域」・「準防火地域」の住宅

内線規程 JEAC 8001-2022 1365-10「感震遮断機能付住宅用分電盤」より抜粋

## ■ 主な感震ブレーカーの種類

	分電盤タイプ	コンセントタイプ※	簡易タイプ※
特長	  <p>内蔵型                      後付型</p> <p>地震センサーで主幹ブレーカを電氣的に遮断</p>	  <p>埋込型                      タップ型</p> <p>地震センサーでコンセントからの給電を遮断</p>	  <p>おもり玉式                      パネ式</p> <p>地震の震動で主幹ブレーカを物理的に遮断</p>
出火予防範囲	 <p>家全体</p>	 <p>一部家電</p> <p>コンセントタイプに接続された家電のみ</p>	 <p>家全体</p>
電気工事	必要	埋込型は必要/タップ型は不要	不要
遮断までの猶予時間	3分 / 1分 / 即時(機種により設定可)	なし	なし

※弊社では取扱いしておりません。

「感震ブレーカー普及啓発チラシ(2019年4月更新)」(経済産業省)  
([https://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/oshirase/2015/10/20190408-1.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/20190408-1.pdf))  
2頁より加工して作成

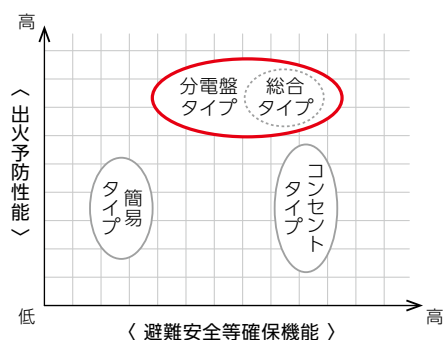
## ■ 内閣府ガイドラインによる性能評価

標準試験		分電盤タイプ	コンセントタイプ※	簡易タイプ※
出火予防性能	感震遮断	★★★★	★★	★
	予防範囲	★★★★	★	★★★★
避難安全確保機能	照明確保	可	可	—
	通電継続 回線確保	一部可	可	—

※弊社では取扱いしておりません。

「大規模地震時の電気火災の発生抑制対策の検討と推進について(報告)」(内閣府)  
([https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/pdf/guideline\\_houkoku.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/pdf/guideline_houkoku.pdf))  
54-55頁より加工して作成

## ■ タイプ別出火予防性能



分電盤タイプは  
「電気工事の有資格者により設置され、  
感震性能、通電遮断の安定性も高い。」

「感震ブレーカー等の性能評価 ガイドライン」(経済産業省)  
([https://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/oshirase/2015/10/270105-3.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-3.pdf))  
19頁「図表7 各タイプ別の性能の特徴」より加工して作成

# 感震ブレーカー (分電盤タイプ)

## 特長

- 業界初
  1. 感震機能をブレーカに搭載
  2. 地震波感知のお知らせ表示
- 機能アップ
  3. 遮断時間の切替が可能
  4. 感震センサーに3軸加速度センサーを採用

※当社従来品比較



特長  
1

### 感震機能をブレーカに搭載

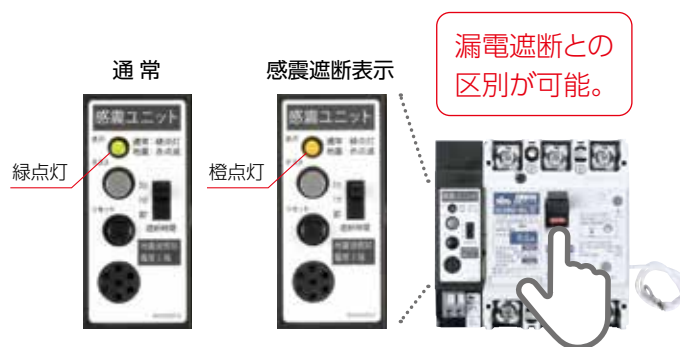
感震リレーとブレーカを一体化し、コストを削減



特長  
2

### 地震波感知のお知らせ表示

地震波感知による動作をブレーカ再投入時のランプ表示によりお知らせする機能を搭載

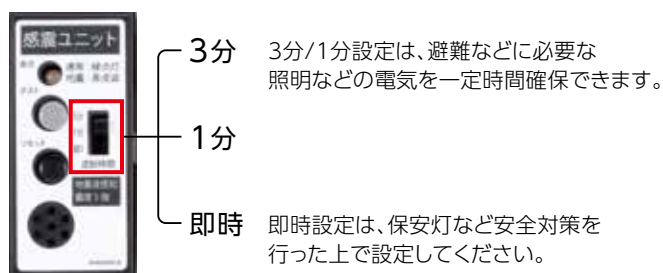


地震波感知により遮断した場合、ブレーカ投入時、ランプが(約10秒間) 橙色に点灯。

特長  
3

### 遮断時間の切替が可能

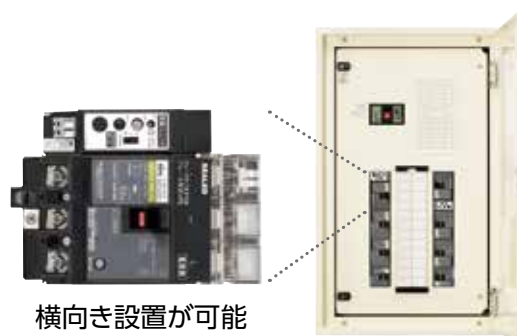
主幹ブレーカを遮断するまでの時間を  
3分・1分・即時から選択可能



特長  
4

### 感震センサーに3軸加速度センサーを採用

- 3軸加速度センサー採用により、横揺れに加え、縦揺れの検出も可能
- 産業用分電盤への組み込みも可能

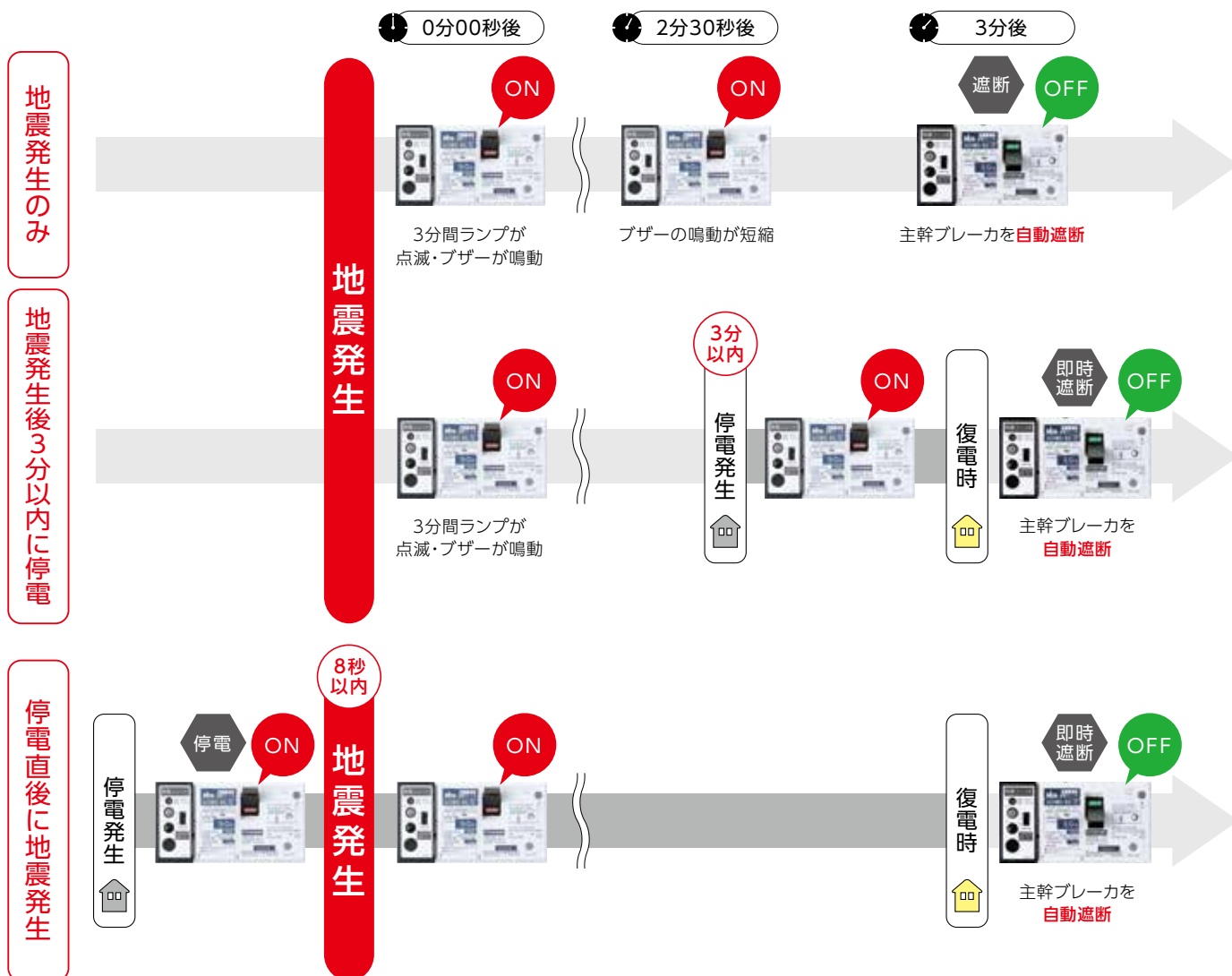


横向き設置が可能

## I 動作フロー

震度5強相当以上の地震波を感知し、主幹ブレーカを自動遮断<sup>\*</sup>

遮断までの設定時間が3分(初期設定)の場合



■ 遮断時間「即」設定時に地震波感知した場合、ブザー鳴動・ランプ点滅を行わずブレーカを即時遮断します。

※設置した壁が地震などで大きく傾いた場合も自動遮断します。

**感震ブレーカーの設定に際しては、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。**

- 感震ブレーカーが動作した場合、生命の維持に直結するような医療機器等への影響が考えられるため、使用にはご注意ください。
- 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。
- 感震ブレーカーの設置に関わらず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、平時から停電対策に取り組みましょう。

**耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。**

- 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を見合わせる必要があります。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましょう。

## 感震機能付ブレーカ

感震機能付サーキットブレーカ



NE53CX-MGU

感震機能付・単3中性線欠相保護付  
漏電ブレーカ



GK58WNX-MGU

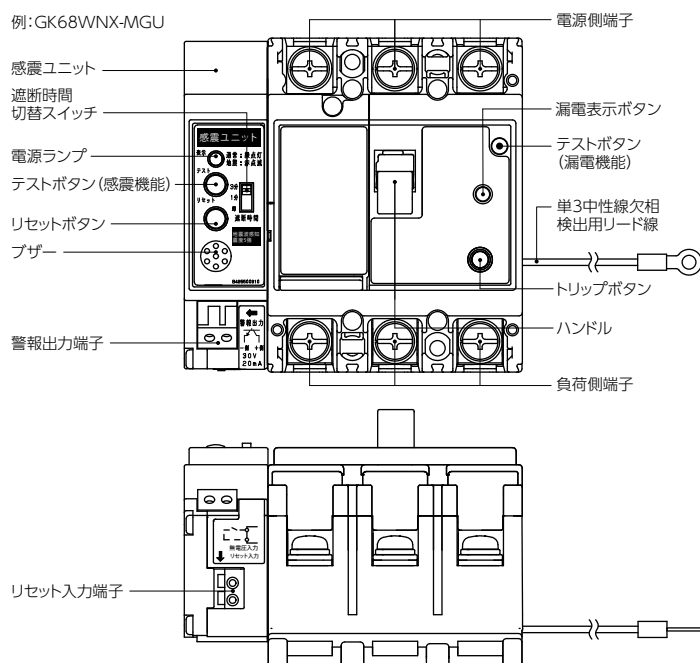
感震機能付・分散型電源システム用  
単3中性線欠相保護付漏電ブレーカ



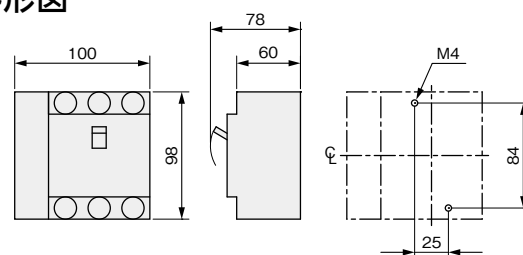
GK53WNX-MGU

## 各部の名称

例: GK68WNX-MGU



## 外形図



## 基本仕様

動作感度	震度5強相当※1 ・250gal周期0.3s、0.5s、0.7sにて動作 ・80gal周期0.3s、0.5s、0.7sおよび 250gal周期0.1sにて不動作
遮断時間	3分/1分/即時切替※2
感震遮断表示	地震波感知により遮断した場合、ブレーカ投入時 電源ランプが橙色に点灯
警報出力	ブザー鳴動、電源ランプ点滅中のみ警報出力 無電圧接点 DC30V 20mA※3
リセット入力	無電圧a接点

※1. 動作感度の切替はできません。

※2. 製品出荷時は、遮断時間を3分に設定しています。

※3. 警報出力は半導体接点のため、通電電流により電圧降下が増大します。  
定格電流付近で使用される場合は電圧降下に注意してご利用ください。

## サーキットブレーカ

納期 区分	品名記号			標準価格 (円)
	形式番号	極数・素子数	定格電流	
○	NE53CX-MGU	3P3E	30A	32,500
○	NE63CX-MGU		40A 50A	34,500
○	NE103CX-MGU		60A	34,500
○			75A 100A	43,000

## 漏電ブレーカ

納期 区分	品名記号				標準価格 (円)
	形式番号	極数・素子数	定格電流	定格感度電流 (mA)	
○	☼ GK58WNX-MGU	3P2E	30A 40A 50A	F30	36,000
○	☼ GK68WNX-MGU		60A		36,000
○	☼ GK108WNX-MGU		75A		43,000
○			100A		50,000
○	☼ GK53WNX-MGU	3P3E	40A 50A	F30	36,000
○	☼ GK63WNX-MGU		60A		36,000
○	☼ GK103WNX-MGU		75A		43,000
○			100A		50,000

○物流センター在庫品

※ 定格電圧が100V以上300V以下、定格電流が100A以下の交流電路に使用するものが対象です。

## 感震機能付スリム3Pブレーカ

感震機能付スリム3Pサーキットブレーカ

感震機能付スリム3P漏電ブレーカ

感震機能付・分散型電源システム兼用  
単3中性線欠相保護付  
スリム3P漏電ブレーカ



NX53-MGU



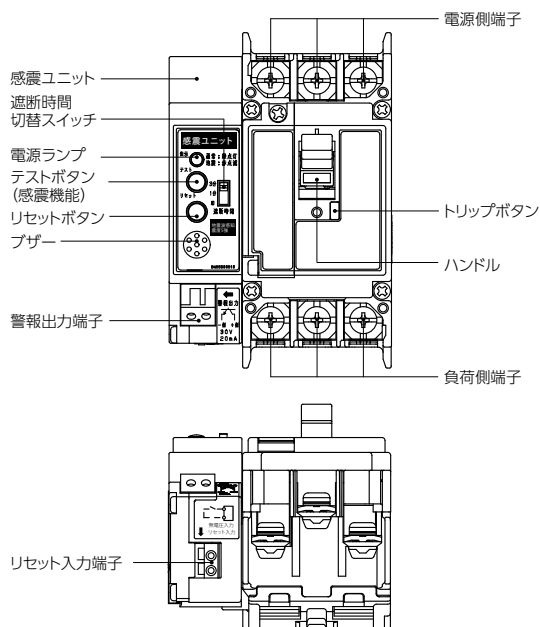
GX53-MGU



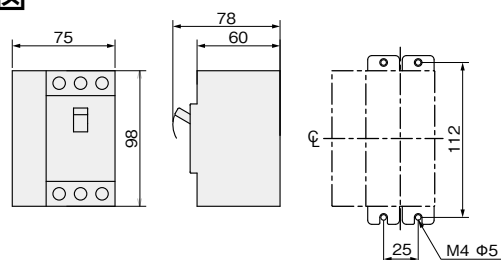
GX53N-MGU

## 各部の名称

例: NX53-MGU



## 外形図



## 基本仕様

動作感度	震度5強相当※1 ・250gal周期0.3s、0.5s、0.7sにて動作 ・80gal周期0.3s、0.5s、0.7sおよび 250gal周期0.1sにて不動作
遮断時間	3分/1分/即時 切替※2
感震遮断表示	地震波感知により遮断した場合、 ブレーカ投入時電源ランプが橙色に点灯
警報出力	ブザー鳴動、電源ランプ点滅中のみ警報出力 無電圧接点 DC30V 20mA※3
リセット入力	無電圧a接点

※1. 動作感度の切替はできません。

※2. 製品出荷時は、遮断時間を3分に設定しています。

※3. 警報出力は半導体接点のため、通電電流により電圧降下が増大します。  
定格電流付近で使用される場合は電圧降下に注意してご利用ください。

## サーキットブレーカ

納期 区分	品名記号			標準価格(円)
	形式番号	極数・素子数	定格電流	
○	NX53-MGU	3P3E	30A	32,500
			40A 50A	34,500
○	NX63-MGU		60A	34,500

## 漏電ブレーカ

納期 区分	品名記号				標準価格(円)
	形式番号	極数・素子数	定格電流	定格感度電流(mA)	
○	GX53-MGU	3P3E	30A	F30	34,000
			40A 50A		35,000
○	GX63-MGU		60A		35,000
○	GX53N-MGU		30A 40A 50A		40,500
○	GX63N-MGU		60A		40,500

## バリエーション

### 感震機能付ホーム分電盤

主幹ブレーカと感震機能が一体化した  
感震ブレーカーを搭載。

新築用

#### 性能表示

※1 日本配線システム工業会認定品  
(JWDS0007付2に基づく)

出火予防性能

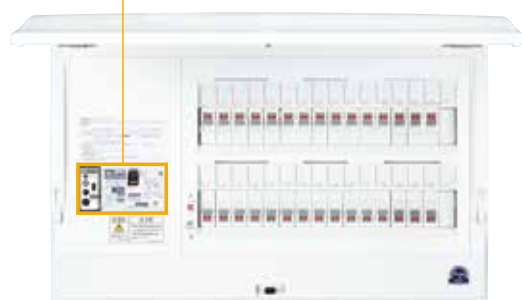
感震遮断

★★★

予防範囲

★★★

感震機能付主幹ブレーカ



HCD3E6-302MG



ドア付

- 主幹ブレーカに感震機能付漏電ブレーカ（感震ブレーカー）を使用したホーム分電盤です。
- 感震ブレーカー分電盤タイプ※1に対応したホーム分電盤です。
- 地震波感知から自動遮断までの時間を3分、1分、即時より選択可能です。
- 地震波感知により主幹ブレーカが動作した場合、主幹ブレーカ投入時に橙色ランプ点灯によりお知らせします。

#### ■感震機能付漏電ブレーカの仕様

型 式	GK58WNX-MGU GK53WNX-MGU GK68WNX-MGU GK63WNX-MGU GK108WNX-MGU GK103WNX-MGU
定 格 電 圧	AC100/200V 50/60Hz
動 作 感 度	震度5強相当 ・ 250gal周期0.3s、0.5s、0.7sにて動作 ・ 80gal周期0.3s、0.5s、0.7sおよび250gal周期0.1sにて不動作
遮 断 時 間	3分／1分／即時 切替※2
警 報 の 表 示	ブザー：鳴動 ランプ：赤点滅
感震遮断表示	地震波感知により主幹ブレーカが動作した場合、主幹ブレーカ投入時ランプが橙色に点灯
警 報 出 力	ブザー鳴動、電源ランプ点滅中のみ警報出力 無電圧接点 DC30V 20mA※3
リセット入力	無電圧a接点

※1. 「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」によって取り纏められた「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(平成27年2月)」による。

※2. 商品出荷時は遮断時間を3分に設定しています。

※3. 警報出力は半導体接点のため、通電電流により電圧降下が増大します。定格電流付近で使用される場合は電圧降下に注意してご利用ください。

## FPCD-MG

### MGユニット (感震機能付ブレーカユニット)

既設ホーム分電盤へ感震ブレーカーの増設が可能。

既設用



FPCD3N6-MG  
(ドア付)

感震機能付  
サーキットブレーカ



機能追加ユニット  
MGユニット



既設ホーム分電盤

高機能 ドア付 プラスチック ホワイト N9.5

性能表示

※1 日本配線システム工業会認定品  
(JWDS0007付2に基づく)

出火予防性能

感震遮断

★★★

予防範囲

★★★

- 感震ブレーカー分電盤タイプ※1に対応した既設ホーム分電盤の一次側に追加設置する機能追加ユニットです。

## MG4 感震リレー (増設用)

既設ホーム分電盤※2へ感震リレー (感震ブレーカー対応) の増設が可能。

既設用



感震リレー-MG4



既設ホーム分電盤



感震リレー-MG4

高機能 プラスチック 露出型 8GY 9.7/0.2

性能表示

※1 日本配線システム工業会認定品  
(JWDS0007付2に基づく)

出火予防性能

感震遮断

★★★

予防範囲

★★★

- 既設ホーム分電盤※2の横に追加設置するタイプです。
- 感震ブレーカー分電盤タイプ増設型※1対応商品です。
- トリップ方式が擬似漏電出力方式のため、主幹漏電ブレーカの交換が不要です。
- ブザーと警報接点出力機能付です。

※1. 「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」によって取り決められた「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(平成27年2月)」による。

※2. 感震リレー (MG4) は日東工業製ホーム分電盤 プチパネル (HCD・HPD・HCB・HPB・HSB・HMB)、HMDタイプ機型分電盤 (HMD) および「安全ブレーカタイプ (HPA・HCA)」専用用品です。  
上記以外のホーム分電盤をお使いの場合は、MGユニット (FPCD-MG) をご用命ください。

## 復旧作業手順

# 地震発生後、感震ブレーカーが作動していたらあわてず次の手順で復旧しましょう!

大地震発生後避難先から帰宅した時

感震ブレーカーがOFFになっている場合



あわてず  
次の手順で  
復旧しましょう!



## ■ 安全確保のため必ず行ってください!!

### 1 復旧作業をする前に

- ① 建物が全壊および半壊となった場合には復旧作業をしないでください。  
屋内外の電気配線の状況や家屋の傾斜(損壊)の状況などについても可能な限り確認を行ったうえで復旧作業を行ってください。
- ② 万一の出火に備えて消火器と通話可能な電話(消防への通報用)を確保してください。  
復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカを遮断し、再度安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を見合わせてください。
- ③ 分岐ブレーカをすべてOFFにしてください。  
各部屋ごとの電気配線に異常がないかを確認するためです。

## 2 建物内の状況を確認

### ① 電源コードが家具・家電の下敷きになって断線していませんか？

下敷きになっている電源コードがある場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。  
また、誤って使用しないようにコードに使用禁止の目印をつけてください。

### ② 発火の可能性がある家電の周辺に可燃物が落下していませんか？

可燃物が落下している場合は、可燃物を取り除いてください。

### ③ 家具・家電が転倒(故障)していませんか？

転倒(故障)している家具・家電に電源コードがある場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。

こんな危険があります!!



## 3 感震ブレーカーをONにする

感震ブレーカーがOFFの状態となっていますので、ONの状態にし、ランプの色を確認してください。

地震波感知により遮断した場合、ランプが(約10秒間) **橙色** に点灯し、その後、通常状態の **緑色** 点灯に変わります。

感震ブレーカー(主幹ブレーカ)



OFFから  
ONにする



#### 4 分岐ブレーカを1つずつ確認しながらONにする

##### A. 分岐ブレーカに各部屋の名前が記載してある場合

各部屋を確認しながら、分岐ブレーカをONにしてください。

##### B. 分岐ブレーカに各部屋の名前が記載していない場合

1つの分岐ブレーカをONにしたら各部屋を確認し、異常がないことを確認できた後に、次の分岐ブレーカの確認へ移ってください。



感震機能付ホーム分電盤

- 途中で主幹ブレーカまたは分岐ブレーカが切れてしまうことはないですか？
- 異常(発熱・臭い・煙・発火など)はありませんか？



どの分岐ブレーカがどの部屋(コンセント)に配線されているか、事前に確認し部屋名を記載しておくことをおすすめします。

異常なく、すべての分岐ブレーカをONにできれば、復旧作業は完了となります。復旧作業の途中で、主幹ブレーカまたは分岐ブレーカが切れてしまったり、復旧作業後に異常が確認された際は直ちに主幹ブレーカをOFFにし、電気工事業者へ連絡してください。

## 感震ブレーカーの設置場所の選定とご使用について

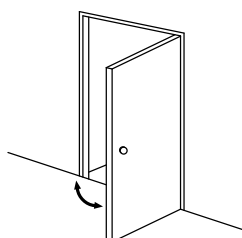
- 感震機能付ブレーカは震度5強相当以上で動作しますが、取り付けた位置で感知するため、設置状況、場所などによって気象庁の発表する震度とは異なる震度で動作するおそれがあります。一般的に設置場所が高くなるほど地震や振動による揺れが大きくなります。
- 地震波に類似した振動が発生する場所では感震機能が動作するおそれがあります。設置場所においてあらかじめ誤動作が起こらないことを確認し、本商品を設置してください。



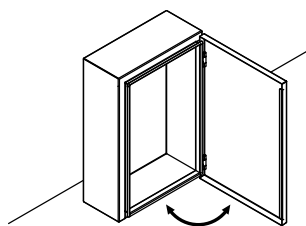
感震機能付  
単3中性線欠相保護付  
漏電ブレーカ  
GK58WNX-MGU

### 〈 誤動作の可能性がある場所の事例 〉

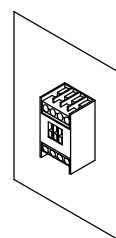
- 大型のドアや引戸の近く
- 連続して振動、衝撃を発生させる機器、設備の近く
- アンカーなどで固定されていない盤への取り付け
- 強度が低い壁面への取り付け
- 電磁接触器などの近く
- IECレールへの取り付け
- 建物の修繕工事など



大型ドアや引戸の近く



アンカーなどで固定されて  
いない盤への取り付け



電磁接触器などの近く

日東工業(株)の全ての工場(瀬戸工場、菊川工場、掛川工場、磐田工場、中津川工場、唐津工場、花巻工場、栃木野木工場)は、国際規格の品質マネジメントシステムISO9001、環境マネジメントシステムISO14001認証取得工場です。

ホームページアドレス <https://www.nito.co.jp>



JQA-1801



JQA-EM1435



#### 安全に関する ご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に  
「取扱説明書」を必ずお読みください。

#### 2025年10月発行

- 本書からの無断転載は固くお断りいたします。
- 当カタログ表記の「標準価格」は弊社希望価格です。
- 本文の価格には消費税および地方税は含まれておりません。
- 価格・仕様などお断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。
- 本製品の故障や瑕疵により、弊社の予見の有無を問わず生じた二次損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記載されている会社名、製品名、システム名は各社の商標または登録商標です。